

平成27年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大桐中学校 学校協議会

1 総括についての評価（最終）

【学力の向上について】

全国・全市規模で実施される学力テストで平均点レベルの獲得を目指したが、3年生を対象とした『全国学力・学習状況調査』『大阪市統一テスト』では、いずれも大阪市平均に及ばず、目標に達しなかった。

その一方、1月に1、2年生を対象に行われた『チャレンジテスト』では府平均との比較となるが、1、2年ともその差は縮小し、取り組みの成果が現れつつある。

【道徳心・社会性の育成】

各種のアンケート結果からは学校に対する満足度は高く、泊行事や体育大会等の行事を通じて、子ども同士が相互に助け合う集団の育成は目標通りに達成することができた。

また、「学校に行くのが楽しい」と考える生徒の割合も微増し、互いを思いやる気持ちや団結力を育むことができた。

【健康・体力の保持増進】

『体力・運動能力、運動習慣等調査』の分析を進めており、それをもとに今後も小中の連携を深める必要がある。部活動は盛んで、入部率も高く熱心に活動している。

これからは給食が全員喫食になることから、家庭との連携を深めながら、食育の充実に重点を置いた指導が重要となる。

2 年度目標ごとの評価（最終）

年度目標：学力の向上

学力向上のためのシステムづくりを推進した。当初はなかなか成果が見られなかつたが、2学期後半からは1、2年生で効果が現れてきた。

また、組織としての共通のビジョンと目標を共有し、基礎学力の定着と家庭学習の充実を図り、この流れを確実なものにする必要がある。

年度目標：道徳心・社会性の育成

安全で規律ある雰囲気を構築する、キャリア教育を充実させることを目指したが、不登校生徒数はほぼ横ばいで、明らかな成果をあげられなかつた。

継続して実施しているキャリア教育としての「福祉ふれあい体験」は、職業や進路を見直すきっかけとなつたと感じる生徒が多く、地域との連携の点からも、一応の成果がみられた。

年度目標：健康体力の維持増進

以前から部活動は盛んで、運動に接する機会も多く、基礎的な運動習慣は比較的身についている。基本的な生活習慣はほぼ定着しているが、家庭における格差が大きく、食育との関連も含めて家庭との連携がより一層重要となってくる。

また、今年度から区役所との連携で実施したゲストティチャー事業は、様々な面で効果があり、今後も有効的に活用していきたい。

年度目標：教職員の資質能力の向上

首席・主任・部長のリーダーシップ育成のため、各種の研修への参加を企画していたが、十分に実現できなかった。さらにコンプライアンスの観点からも、課題が明らかになった。

一方、研究授業を中心に育てあう若手集団の育成をはかり、相互に授業を参観させ、振り返ることで、OJT事業を推進することができた。

年度目標：学校マネジメントの向上

今年度も Team The Daido をテーマに「人にやさしい学校づくり」を本校の教育活動の軸として取り組んだ。これからは生徒・保護者のニーズを的確にとらえ、学校マネジメントの向上につなげていきたい。

3 今後の学校運営についての意見

今年度は、いろいろあり大変だったようだが、大桐中学校の先生は本当によくがんばっており、「Team The Daido」というスローガンがあるので教職員が一つにまとまっている。地域でみても生徒の挨拶はよくできている。

大桐中の良さを大切にしながら、新しい時代にあった教育の推進に今後も頑張ってほしいと思うし、してくれるとと思う。